

収支報告

平成 26 年度若桐会収支報告 (平成 26 年 6 月 1 日～平成 27 年 5 月 31 日)

収支	金額	支出	金額
前期繰越金	¥582,503	平成 27 年度総会開催費	¥27,750
当期収入		同上振込手数料	¥648
卒業生同窓会費	¥22,000		
第 59 期卒業生同窓会費	¥158,000		
受取利息	¥65		
受取利息	¥69		
計	¥762,637	計	¥28,398
		次年度繰越金 (収入-支出)	¥734,239

若桐基金 (在校生対策準備金) ¥1,075,236 *今年度は、卒業生への卒業記念品、ガムランへの支援を行いました。

●平成 28 年度若桐会総会・懇親会のお知らせです

日時：平成 28 年 6 月 25 日 土曜日 13 時～定時総会・14 時～記念イベント / 場所：東京都市大学付属小学校
 当日の懇親会は、本校創立 60 周年を記念し若桐会主催で記念イベントを開催致します。
 懐かしいあの先生が登場!?, 敵味方に分かれて、ポールをぶつけ合うあれ!! などなど、楽しい企画を考えております。
 詳細はホームページ、フェイスブックで適宜お知らせ致しますので、合わせてご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。
 同窓会「若桐会」は皆様よりの同窓会費で運営されております。同窓会費未納の方は恐れ入りますが納入をお願いいたします。
 詳しくは若桐会HPにて <http://www.wakagirikai.com>

編集後記

編集一男
 平成 26 年定時総会にてこの会報誌に関する卒業生より、今時は印刷物でなく SNS や HP で十分では? とのご意見があり平成 27 年は発行をいたしませんでした。残念ながら定時総会の周知が行き渡らず参加人数も少なく、少し寂しい総会となりました。27 年総会で当面、この会報は必要と判断をし、総会参加者の同意も得ましたので発行をさせて頂くことになりました。とは言え、この発行に関しては同窓会費を使うことなく卒業生の広告費で発行しております。皆様も是非、広告のご協力やご寄付のご協力も頂ければ幸いです。

編集二子
 全国の私立小学校に通う生徒の割合ってご存知でしょうか?
 全国の小学生は 6,993,376 人で、私立小学校生は 79,042 人、全国の小学生の僅か 1.1% なんです。全国の小学生 100 人に 1 人の割合です。まさに選ばれた小学生です。

株式会社太平商会
 代表取締役社長 古屋 公啓
 東京都港区港南三丁目 7 番 20 号 TEL.03 (3471) 1531 FAX.03 (3471) 1532
 レンタルスペース
P.S.R 港南

代表取締役

戸部 智史
 株式会社エコマ
 〒114-0002
 東京都港区王子5丁目10-1
 TEL.03-3855-5580 FAX.03-5838-1880
 Mobile:090-2647-2930
 e-mail: t-tobe@ecoma.co.jp

感性価値を創造する

池田印刷株式会社
<http://www.ikedatech.co.jp>
 本社・営業：東京都品川区西五反田6-5-34
 TEL03-3493-2141 FAX03-5434-9307
 京浜島工場：東京都大田区京浜島2-4-18
 TEL03-3799-1241 FAX03-3799-1243

大量コインランドリー 布類・毛布丸洗いOK
晴れのち晴れ

 TEL:042-271-7007
 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀4-16-10

発行 東京都市大学付属小学校同窓会 若桐会
 〒157-0066 東京都世田谷区成城 1-12-1

 P-00003
 P-B10092

 ミックス 責任ある水資源管理を使用した紙 FSC® C112249

※この会報はユニバーサルデザインを基本として作成されています。

東京都市大学 付属小学校 同窓会 若桐会 会報誌 2015 号

東京都市大学 付属小学校 TOKYO CITY UNIVERSITY ELEMENTARY SCHOOL 同窓会 若桐会



若桐会 会長
戸部 智史
 第 33 期 (1989 年卒)

若桐会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍の事と拝察いたします。
 理事会の推薦、総会の承認を頂き、平成 27 年 6 月より池田前会長の後を受けて会長を務めさせていただくことになりました。33 期生の戸部智史と申します。
 若桐会が再スタートした 2012 年(平成 24 年)は学校法人五島育英会初代理事長である五島慶太翁生誕 130 年という節目の年でした。
 生誕 130 年を記念し刊行された「熱誠」を拝読し、在校時には興味すらなかった建学者の思いにふれ、この母校(私学)で学べたこと、そして学ばせてくれた父母への感謝の気持ちで胸が熱くなりました。この気持ちを大切に母校と若桐会の発展の為、微力ではございますが頑張る所存でございます。
 本校は設立より 55 年以上となります。歴史ある本校にふさわしい同窓生の会となるよう、会員相互の向上、親睦を図り合わせて母校の発展に寄与するよう引続き活動を行って参ります。同じ学び舎で過ごしたすべての卒業生が絆を強く持てるよう役員一同、皆様のために精進いたしますので、宜しくお願い致します。役員を代表いたしましてご挨拶とさせていただきます。



若桐会前会長・相談役
池田 幸寛
 第 18 期 (1974 年卒)

第 18 期卒業の池田と申します。
 若桐会会長の任を拝命し、早 3 年が経ちこの度任期満了となり先の定時総会で新会長の戸部氏が選任されました。私儀、この学び舎を卒業したのは 42 年前ではありますが昨日のように思う次第です。
 卒業 11 年後の 23 歳の時に同級生の他界があり、葬儀の席上で恩師の先生から皆んなの連絡先は誰が知っているのか? の問いに毎週末昼夜問わず卒業当時の名簿を頼りにその住所を訪ね、新に同級生名簿の作り直しをしたこともあり、今でも同級生の 95% の住所を把握して同級会に活用されてます。
 その後、新しくなった東京都市大附属小学校の見学を同級会でを行い当時の沖田前校長先生、板橋前教頭先生より学校同窓会の再構築を依頼され準備会を設置し新に組織名を「若桐会」としスタートをし、この 3 年で基礎は出来上がりました。ここで設立準備の当初より一緒にご尽力を頂いた若手の戸部氏にバトンタッチをし、益々の若桐会の発展を望みたいと思います。

縦の糸の若桐会、横の糸の同期会を結ぶことにより、同じ学び舎で学んだ卒業生が絆を強く持ち自らの人生に役立てばと願っております。今後は相談役として戸部会長をはじめ若桐会を微力ながら支えて参る所存です。
 どうか卒業生の皆様はこの若桐会の総会、イベントにご参加いただき一緒に縦の糸、横の糸をより強く結ばれるよう宜しくお願い申し上げます。

校長メッセージ 重永 睦夫 校長



重永校長

同窓会「若桐会」の皆さま、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

本校は東横学園小学校として創立されて以来、本年で60周年を迎えます。第一期生の皆様は古希の長寿を超えておられます。伝統校の仲間入りができる節目を迎えることができましたのも、若桐会の皆様のご支援のたまものと感謝申し上げます。

再建なった若桐会も4年目を迎えますが、会の末永い発展をみすえて、会長職も昨年、池田会長から戸部会長へバトンタッチされました。戸部新会長のもとで大きな発展をとげられますよう心よりお祈り申し上げます。池田前会長が本校に在籍しておられたのは、近所の東宝撮影所で、ゴジラやウルトラマンの撮影がなされていた頃だとうかがっております。ゴジラやウルトラマンといえば、私も心をときめかせた世代です。前会長さんと私は世代的に一回り離れておりますが、それはともかくとして、私は映画のロケなどくこともない九州の片田舎育ちなものですから、池田前会長さんが、ゴジラやウルトラマンの撮影風景を直接ながめることができた……なんとも羨ましい話であります。

戸部新会長さんが本校に在籍されたのは、昭和末期、バブル経済の時代だと思いますが、日本という国が輝いていたころの小学生ですから将来に明るい希望をもって本校の門を日々くぐっておられたことでしょう。実際はちがってしまったとはいえ、少年の頃、輝く未来を想像できたことは素晴らしいことだと思います。

私もいまの都市大っ子たちが大きくなったときに、新旧会長さんのようにノスタルジーにひたれる少年時代、そして、未来に明るい星をみることができるような小学校生活をつくってあげたいと思っております。どうぞ、今後とも皆様のご支援をお願い申し上げます。

小学校の同窓会は「竹馬の友」の集まりです。卒業生の皆さまが社会の荒波にもまれて生きているとき、一休みできる港のような安らぎの場だと思います。同窓会の末永い発展をご祈念申し上げます。

教頭メッセージ 寺門 清貴 教頭



寺門教頭

同窓会「若桐会」の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

また、平素から本校の教育活動に関し、ご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成27年度より教頭職の任を拝命いたしました寺門清貴と申します。本校では、教頭＝同窓会「若桐会」顧問となりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

同窓生の皆さまに対して、改めてお話すまでのことではありませんが、本校は、五島慶太初代理事長の建学の精神のもと、「高い学力」と「豊かな心」を教育の二本の柱に据え、「自主的・主体的に考え行動」し、「楽しい生活と凛とした気高さをあわせもち世界に通用するリーダー的存在」の育成を目標に日々教育活動を行い、伝統を培ってきました。

学校は、今いる児童や教職員のためののみあるものではありません。これまで培われてきたその伝統を受け継ぎながら、未来にその大いなる使命を果たすためにあり、常に新生面を切り開くことが求められます。

俳聖松尾芭蕉が説いた言葉に「不易流行」があります。「不易」とは、時をこえて普遍の真理をさし、「流行」とは時代や環境の変化によって革新されていくことです。学問・文化や人間形成にも当てはめるとできると解説されていますが、学校にも当てはまるのではないかと私なりに解釈しております。

本校に今求められているのは正にこのこと、つまり伝統を守りながら革新していくことだと思います。今後は、従前どおりの教育活動をさらに推進していくとともに、新たな挑戦も視野に入れ、教職員一同一丸となって、本校の一層の発展に取り組んでゆく所存でございます(たとえ革新の歩みが匍匐前進レベルであっても)。

同窓会の皆さまには、これまで通り母校に対する物心両面にわたるご支援をどうかよろしく願いいたします。

末筆ながら、同窓生の皆さまのますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

卒業生のひろば 第47期卒業生 大井 隆史



大井隆史

第47期(2003年卒)

47期卒業の大井隆史と申します。

現在は東京理科大学大学院2年生で、2016年4月からは(株)日立物流で技術社員として働く予定です。

私が在籍していた時の学校名は東横学園小学校という名前でした。この校名はほとんどの卒業生の方がそうだったかと思います。数年前に校名が東京都市大附属小学校に変わり、学舎も建て替えられた姿を見て、当初は少し寂しい気持ちもありました。いたずらで消火器を噴射した階段。給食をつまみ食いした廊下。百葉箱のあった体育館裏。休憩時間に友人と遊んだ教室前の廊下。水曜の放課後のクラブ活動や運動会をしたグラウンド。全てが変わっていたからです。でも、制服や体操着は変わらず、先生も何人かは残って指導しています。とくに私が小学5、6年生のときの担任であった板橋先生が今でもご指導している事を同窓会で知り、大変嬉しく思いました。

この小学校は、皆さんご存知の通り、多くの学校行事があって、人格形成には素晴らしい機会が盛り沢山だったかと思います。また普段の学校行事も楽しくも厳しく指導していただき、学業への姿勢も身に付きました。このように母校での多くの経験が、卒業してからの、辛い時の支えとなっていました。

こうしたことから、若桐会に参加をすることで横の繋がりでなく縦の繋がりをもち、我が母校の絆を強めるとともに、今の私の基礎を築いてくれた素晴らしい学校へ、恩返しをしようと考えました。

また、若桐会の役員になって、役員の方々に会いしてみると、皆さん各方面で活躍されている方々で、刺激を受けることばかりです。最初は皆さん年上ですし、私のような青二才を相手にしてくれないのでは無いかと不安ではありましたが、皆さん暖かく迎えてくれて、毎回お会いするのが今では楽しみになっています。なかなかこのような方々と出会う機会を得られる人は少ないと思うので、同窓会に参加した事は良い選択だったと思っています。まだまだ役員での進め方に不慣れですが、これからもご指導いただき、自己啓発に励むとともに母校の発展の支えの一助になりたいと考えています。さらに、4月からの社会人に向けて、ここでの経験も存分に活かしていきたいと思っています。

最後に、卒業生の皆さんも是非、積極的に若桐会や母校だけでなく、色々な所に行って交流をはかってみると、思っている以上に楽しく、刺激を受けます。何がきっかけとなって人生が変わるか分かりませんから。

在校生への支援

今年度、若桐会は高学年の音楽教育における、民族音楽の鑑賞及び体験学習の新規カリキュラムの『ガムラン』を開催にあたり協力をさせて頂きました。

ガムランとはインドネシアの民族音楽で銅鑼や打楽器で演奏される音楽です。鑑賞ではバリ舞踊とガムラン演奏体験ではケチャの合奏、ガムランの体験・合奏やバリ舞踏のお面、演じ方をもとにワークショップを行っていただきました。

5年生、6年生の生徒さんからはとても貴重な体験をさせていただき、世界の民族音楽を知ることができ、一層の授業への関心や海外の文化に触れられ大変勉強になりましたとお礼を頂いております。若桐会では今後も活動の一つとして在校生の支援を続けたいと思っております。

在校生への支援は若桐基金によって行なわれてます。皆様よりのご寄付を心よりお願い申し上げます。



若桐会役員

会長	戸部 智史	第33期(1989年卒)	理事・会計	岩佐 一希	第40期(1996年卒)
副会長	古屋 公啓	第27期(1983年卒)	理事・相談役	池田 幸寛	第18期(1974年卒)
副会長	宮永 正浩	第40期(1996年卒)	監事	原藤 香織	第39期(1995年卒)
理事	富本 大一	第33期(1989年卒)	監事	別府 美典	東京都市大学附属小学校教諭
理事	山田 洋輔	第40期(1996年卒)	相談役	寺門教頭	東京都市大学附属小学校教頭
理事	白井 勇次	第18期(1974年卒)	名誉顧問	沖田前校長	東京都市大学附属小学校前校長
理事	大井 隆史	第47期(2003年卒)	顧問	板橋前教頭	東京都市大学附属小学校前教頭